

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

医療法人社団 日本鋼管福山病院

(2) 事業所の所在地

広島県福山市大門町津之下1844番地

(3) 業種

一般病院

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23年度を基準年度とし、平成29年度から平成33年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1.基本的な考え方

当院は、地域密着型の医療を実践するとともに、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2.方針

- ・省エネルギー、省資源の推進
- ・新エネルギー導入促進
- ・環境にやさしい省エネルギー製品への更新
- ・廃棄物の排出抑制
- ・環境保全活動への参加
- ・職員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成23年度	平成29年度
二酸化炭素	4,637	4,057

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成23年度)		削減目標		目標年度 (平成33年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO2	4,637	13.7	637	4,000		
非エネルギー起源CO2				0		
メタン				0		
一酸化二窒素				0		
その他 温室効果ガス				0		
温室効果ガス 実排出量総計				0		
温室効果ガス みなし排出量		-		0		
目標設定の考え方						

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位数 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位数 値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2				#VALUE!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	A重油の使用量を0.5%削減	外気温、水温の状況を見て給湯機の温度を管理する。
2	電気使用量の削減	電気の使用量を0.5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の適正管理 ・蛍光灯照明をLED照明に取り替える ・省エネ型エアコンに取替える
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

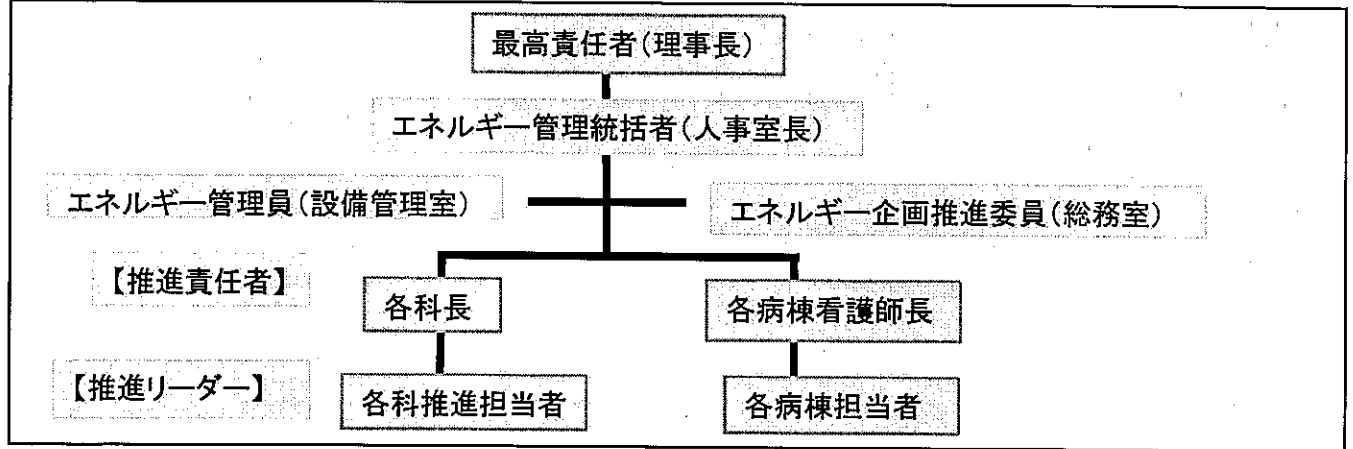
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

・病院総務室及び設備管理室のエネルギー管理員、推進員を中心に、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握と点検、問題点等の検討を行い、省エネルギー推進会議において定期的に評価見直し等実施し、少しでも多くの温室効果ガス削減の継続的な向上を図る。また取り組み状況、点検、評価等については計画書と共に講評していく。

(3) 計画書等の公表

・院内のパソコンを利用し内容の閲覧をする。